

第1章 計画の策定にあたって

1 計画策定の背景・性格

- プラザでは、中長期的視点で事業者が直面する課題に対応するため、これまで4度にわたり中期経営計画を策定し、プラザ経営の方向性や事業目標をとりまとめ、事業を実施してきました。
- 多くの中小企業が社会情勢の変化と消費停滞の影響をうけ、顧客ニーズや自社の強みに着目した事業の見直しを余儀なくされました。その後も、原油・原材料価格の高騰、部材調達難、人材不足といった課題に直面するなど、めまぐるしく環境が変化しています。
- 令和6年度（2024年度）が前計画の最終年度となります。この間、訪問件数や相談件数は目標を達成しましたが、売上増加や雇用増加は達成には至らなかったという前計画の成果や課題を踏まえるとともに、「滋賀県産業振興ビジョン2030」「滋賀県中小企業活性化の推進に関する条例」など引き続き県のビジョン、国等の経済産業振興の方向性を基に、環境変化に対応する新たな第五期中期経営計画を策定することとしました。
- 計画では2030年を見据え、滋賀県経済の持続的な成長につながる産業の創出や中小企業の活性化へ向け、「All Plaza」で重点的に取り組んでいきます。

2 計画の期間

計画の実施期間は、令和7年度から令和12年度までの6年間（3年を目途に必要な見直しを行う。）

第3章 計画の事業目標と重点テーマ

事業目標

重点テーマ

1 人材の確保・育成・活躍支援

- (1) 人材確保、育成、定着
- (2) 働き方改革の推進
- (3) ダイバーシティの推進
- (4) 事業承継

企業の人的資源を最大限に活用し、組織の成長と競争力を高めることを目的とした人材戦略の立案や、経営戦略との整合性、労働環境を整備するといった定着へ向けたチャレンジを促すことにより、人材確保から事業承継も見据えた幅広い中長期的な「人・組織」の最適化を図る。

2 新事業創出支援

- (1) 起業・第二創業
・スタートアップ支援
- (2) オープンイノベーションの推進
- (3) 研究開発
・イノベーション創出支援

起業等の機運の醸成に努め、起業・創業者のニーズに合ったインキュベーション施設や交流の場の提供、外部リソースの活用によるオープンイノベーション推進など、「新技術の芽の発掘」から「新事業の創出」までの幅広いチャレンジを応援することにより、事業の持続的な発展と競争力の一層の強化を図る。

3 経営基盤強化支援

- (1) 経営改善・事業再構築
- (2) 中堅企業への成長支援
- (3) 情報発信
- (4) 危機管理（BCP）策定
- (5) 販路開拓
- (6) 海外展開支援
- (7) マーケティング支援
- (8) 生産性向上・業務効率化（省力化）支援
- (9) DXの推進
- (10) CO₂ネットゼロ推進

経営の革新や強化のための支援をはじめ、様々な経営課題に対するきめ細かな相談体制の構築、企業ニーズに合った情報提供や課題解決や課題探索を伴走型で行うなど、国の認定経営革新等支援機関として、中小企業に対し専門性の高い支援の提供やサポート体制の構築に努める。

第2章 計画の基本的な考え方

1 プラザの経営理念と経営指針

経営理念

顧客とのコミュニケーションを大切に、そのニーズ・シーズ的確な把握のもと、国連で採択されたSDGsの理念を念頭に自らの資源と関係機関等との連携を最大限に活かし、常に質の高いサービスを迅速かつ着実に提供することにより、活力ある滋賀県産業の発展に貢献する。

経営指針

- ① 顧客と同じ目線に立ち、コミュニケーションを最も重視し、そのニーズに的確に応え、ともに前進することを目指す。
- ② 企業活動の支援に関わるパートナーとの連携を強め、総合的・一体的な支援を目指す。
- ③ 産学官金連携の中核となって、新たな産業の振興に取り組む。
- ④ 県内企業の動向や産業界の生の声など現場情報の把握と蓄積に努め、産業支援策の充実強化に寄与
- ⑤ 産業・経済の急激な変化や行政の政策方針に機敏に対応し、常にSDGsの理念を念頭に自ら考え行動する自立的な組織運営に努める。

2 プラザの目指すもの

- (1) 顧客と同じ目線に立ち寄り添った支援
- (2) 多様な人材と専門性を活かしたワンストップサービスによる支援
- (3) 地域に根差した支援ネットワークの結節点
- (4) 企業の新たな取組や目指す姿の実現を後押し
- (5) 支援制度や先進企業の取組み等幅広い情報発信

第4章 計画の推進に向けて

組織運営の推進体制

計画の推進に向けて、職員一人ひとりがプラザの理念と役割を自覚し、組織力が最大限に発揮され、計画の円滑な推進が図られるよう、「All Plaza」として役職員が一丸となり取組を行う。

- (1) 計画の進行管理 (2) 経営基盤の強化 (3) 組織体制の充実・強化 (4) 人材の育成・活用

成果指標

本計画におけるプラザのあるべき姿に関する成果指標（アウトカム）および各成果指標の達成に向けた事業実施に関する指標（アウトプット）を設定

R7年度目標

アウトカム	プラザの支援に満足している企業の割合	92.0%
	人材の確保・育成・活躍等に結びついた企業の割合	90.0%
	新事業創出に結びついた企業の割合	80.0%
	経営基盤強化に結びついた企業の割合	90.0%
アウトプット	相談受理件数	13,000件
	企業訪問件数	3,400件
	新たにプラザの支援を利用した企業等の数	1,250社
	情報発信件数	150件
	ホームページアクセス（ページビュー）数	311,000件